

本学に募集のあった各種奨学金貸与・給付団体一覧(令和3年度奨学生募集)

令和3年3月30日現在

No	団体名	財団締切日	形態	奨学金月額	支給期間	対象者	募集人員	他の奨学金との併給	免除制度	応募方法
1	公益財団法人 林レオロジー記念財団	令和2年 10月31日	給付	学部生 3万円 大学院生 5万円	1年間 又は 2年間	<p>未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学院生及び学部生、若しくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学院生及び学部生を対象とし、かつ次の3つの条件全てに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年4月に学部3年若しくは学部4年に進級する者、又は、大学院博士前期(修士)課程の1年生に進学する者、若しくは大学院博士前期(修士)課程2年生に進級する者</li> <li>2. 品行方正で学習意欲の高い者</li> <li>3. 学業成績が一定水準以上の者</li> </ol>	学部生 20名 大学院生 25名	可	—	大学経由
2	公益財団法人 本庄国際奨学財団 (国内大学院生奨学金)	10月31日	給付	15万円又は 18万円又は 20万円	1年間 ～ 5年間	<p>・次の7つの条件全てに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本国籍を有する者</li> <li>2. 2021年4月時点で大学院に在籍している者。又は入学を予定している者</li> <li>3. 2021年4月時点で在籍期間が残り1年以上あること</li> <li>4. 専門職大学院生は原則対象外であるが、研究計画書を提出出来る場合は可</li> <li>5. 博士課程の学生は35歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に35歳以下であること、修士課程の学生は30歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に30歳以下であること</li> <li>6. 大学院修了後は母国に貢献する将来計画を持つ者</li> <li>7. 国際親善や交流に理解を持ち、財団で行う行事や同窓生ネットワークに積極的に参加又は協力出来る者</li> </ol>	若干名	不可	—	直接応募
3	公益財団法人 日本国際教育支援協会 (ソフトバンクAI人材育成奨学金)	令和3年 1月8日	給付	8万円 + 4万円 (一時金)	1年間	<p>・次の8つの条件全てに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年4月時点で、大学院博士前期(修士)課程1年生に在籍予定の者(私費留学生可)</li> <li>2. 人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)の学修・研究に取り組む者</li> <li>3. 学修の目的又は計画が明確で、支援の効果が期待出来る者</li> <li>4. 品行方正で、学業成績が優秀な者</li> <li>5. 令和3年4月時点の在籍大学長の推薦を受けることが出来る者</li> <li>6. 日本語で面接を受けることが出来る者</li> <li>7. 社会人学生(休職中を含む)でない者</li> <li>8. 令和3年9月30日時点で28歳未満の者</li> </ol>	100名 以内	可	—	大学経由
4	旭化成奨学金	1月20日	貸与	5万円 又は 10万円	最終学年 の 1年間	<p>・次の2つの条件全てに該当する学部生及び大学院生</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成3年4月から平成4年3月に卒業(修了)予定の者</li> <li>2. 化学、化学工学、機械、土木、建築、制御、電気、電子、強電、物理、情報、生物、薬学、農学、医学、獣医学、数学、物理学、材料を専攻している者</li> </ol>	30名程度		1部可	直接出願

5	一般財団法人 TCS奨学会	1月31日	給付	5万円	1年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の7つの条件全てに該当する学生</li> <li>1. 日本国籍を有していること</li> <li>2. 令和2年度現在4年制学部生及び修士(博士前期)課程学生で、令和3年4月月に2年生以上に進級する学部生又は修士(博士前期)課程学生</li> <li>3. 情報系の学部・学科等に在籍している者</li> <li>4. 最短修業年限で卒業見込みであること</li> <li>5. 修得単位数が標準単位数以上で、直近の学業成績(GPA)が、2.9以上の者</li> <li>6. 学修計画書で、将来、社会で自立し、活躍する目標をもって大学等における学修意欲を有していることが確認出来る者</li> <li>7. 本財団が企画する行事(懇親会等)への参加に協力することが出来る者</li> </ul>	30名程度	可	—	直接出願
6	鹿児島ロータリークラブ	3月3日	給付	2万円	修業年限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学業成績、人物ともに優れ、向上心に溢れているが、経済的な事情で修学が困難と認められる学部生</li> </ul>	1名	可	—	大学経由
7	公益財団法人 吉田育英会(ドクター21)	4月16日	給付	20万円 + 入学料相当額 + 授業料相当額 等	修業年限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の3つの条件全てに該当する大学院生</li> <li>1. 日本国籍を有する令和3年4月1日現在で30歳未満の者</li> <li>2. 令和3年4月1日現在で修士課程(博士前期課程)2年次に在学しており、本年10月又は来年4月に博士課程(博士後期課程)に進学を希望する者</li> <li>3. 進学先大学院で自然科学系分野を専攻する者</li> </ul>	5名程度	一部可	—	直接応募
8	福井県ものづくり人材育成修学資金	4月16日	貸与 (無利子)	6万円	修業年限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の4つの条件全てに該当する大学院生</li> <li>1. 令和3年4月時点で理工系(薬学、生物学、土木工学、建築学、農学、畜産学、水産学等含む)に在学する方</li> <li>2. 社会人入学試験により入学した方でないこと</li> <li>3. 大学院を修了した日の属する年の翌年4月末日までに県内ものづくり企業に勤務して研究開発業務に従事することを希望する方</li> <li>4. 日本国籍を有する方等</li> </ul>	15名程度	可	有	直接応募
9	ダイワ運輸グループ奨学金	4月30日	貸与 (無利子)	1万円 ~ 5万円	修業年限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の2つの条件全てに該当する学部生</li> <li>1. 新型コロナウイルス感染症に起因して、アルバイト収入が減少した、あるいは親からの仕送りが減少した等により経済的に困窮し、修学の継続に困難があると認められる者</li> <li>2. 連帯保証人及び保証人による保証を受けられる者</li> </ul>	10名	可	有	直接応募
10	公益信託 松尾金蔵記念奨学基金	4月30日	給付	年額100万円	修業年限 以 内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生で次の5つの条件全てに該当する者</li> <li>1. 文学、哲学(宗教学、美学、美術史を含む)、言語学、人文地理学、教育学、文化人類学、心理学、社会学、史学等を学ぶ令和3年4月入学大学院1年生</li> <li>2. 就学上奨学金の援助を必要とする者</li> <li>3. 原則として他の奨学金を受給していない者</li> <li>4. 品行方正、健康で学業成績が優秀な者</li> <li>5. 令和3年4月1日現在で30歳以下の者</li> </ul>	10名程度	不可	—	大学経由

11	公益財団法人 本庄国際奨学財団 (海外留学奨学生)	4月30日	給付	15万円又は 18万円又は 20万円	1年間 ～ 5年間	・次の7つの条件全てに該当する者 1. 学位の取得を目的として、海外の大学院に留学中又は留学予定の者 2. 日本国籍を有する者 3. 博士課程の学生は35歳以下、修士課程在籍者は30歳以下 4. 留学先の大学、専攻分野に指定はないが、語学研修は不可 5. 大学院修了後は、日本において勤務することを確約出来る者 (修了後直ちにということではないが将来的に日本で勤務する希望があれば可) 6. 国際親善に理解を持ち、貢献を期する者 7. 専門職大学院生は原則対象外であるが、研究計画書を提出出来る場合は可	3～5名	不可	—	直接応募
12	一般財団法人 上田記念財団	4月30日	給付	5万円	2年間	・令和3年4月1日現在で、海洋土木工学科3年生(4月1日現在で23歳未満) 又は理工学研究科工学専攻1年生(4月1日現在で25歳未満)の者	2名	一部可	—	大学経由
13	一般財団法人 イカリ謝恩育英財団	4月30日	給付	3万円	1年間	・学部生で次の5つの条件全てに該当する者 1. 本財団の定める学力基準及び家計基準を満たす者 2. 日本国籍を有する3年生以上の者 3. 環境・食品・医学・薬学・バイオ学系・農学系・理学系・工学系の学生であり、 学部長及び指導教員の推薦が受けられる者 4. 公衆衛生・環境衛生・食品衛生・衛生動物又は応用昆虫に類する単位を取得 もしくは単位取得が見込まれている者 5. 他の奨学金制度による奨学金の給付を本奨学金と併用して受けない者 (日本学生支援機構の給付型奨学金対象者を除く)	30名程度	一部可	—	大学経由
14	一般財団法人 いであ環境・文化財団	4月30日	給付	20万円①	1年間	・次の4つの条件全てに該当する者 1. 令和3年4月1日現在で、学部2年生以上又は大学院生であること 2. 環境保全の分野で社会貢献を目指すための専門科目を専攻していること 3. 所属大学からの推薦を受けることが出来ること 4. 別途定める学力基準を満たしていること	30名程度	可	—	大学経由
15	公益財団法人 壽崎育英財団	5月6日	給付	1万円	1年間	・次の2つの条件全てに該当する学部生及び大学院生 1. 申請者と生計を共にしている家族で主たる生計を維持している者が九州地方 に居住していること 2. 人物学業ともによぐれ、かつ健康であり奨学資金の支給が必要であると認め られること	40名	可	—	大学経由
16	公益財団法人 佐藤奨学会	5月7日	給付	学部生 2.5万円 院生 3.05万円	修業年限	・学部生又は大学院生で、学業、人物とも優秀で、かつ健康であり、学資の支弁が 困難と認められるもの	学部生10名 院生 2名	可	—	大学経由
17	公益財団法人 上野カネ奨学会	5月7日	貸与 (無利子)	5.1万円	修業年限	・次の2つの条件全てに該当する学部生 1. 鹿児島県に生活の本拠を有する者の子弟で、卒業後に学校の教員(幼稚園 を含む)の教員を志望する女子学生 2. 学業成績、人物が優秀であるにもかかわらず修学について経済的に困難と 認められる女子学生	5名程度	可	有 (教員に 就職等)	大学経由

18	日清食品・安藤百福 Scholarship	5月10日	給付	年額 100万円	1年間	・次の4つの条件全てに該当する者 1. 食科学に関連する研究を行う大学院生 2. 日本国籍を有している者 3. 学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資等の経済的支援を必要としている者 4. 就学及び生活状況を毎月報告及び年度末に財団指定の書類を提出出来る者	100名程度	可	—	大学経由
19	公益財団法人 吉田育英会(マスター21)	5月10日	給付	月額8万円 又は 入学金及び 授業料相当額 等	修業年限	・次の3つの条件全てに該当する学部生 1. 日本国籍を有する令和3年4月1日現在で27歳未満の者 2. 令和3年4月1日現在で学部4年次に在学しており、本年10月又は来年4月に修士課程(博士前期課程)に進学を希望する者 3. 進学先大学院で自然科学系分野を専攻する者	15名	一部可	—	大学経由
20	公益財団法人 戸部真紀財団	5月11日	給付	月額5万円	1年間	・次の6つの条件全てに該当する学部生及び大学院生 1. 学部3年生以上又は大学院生 2. 令和3年4月1日現在で30歳以下の者 3. 化学、食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学を修学している者 4. 向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者 5. 学資の支弁が困難と認められる者 6. 奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者	45名程度	一部可	—	直接応募
21	公益信託池田育英会トラスト	5月14日	給付	1.7万円	修業年限	・愛媛県内の高等学校を卒業した方、または保護者が愛媛県内に居住している方で、学部2年生以上(新入生は除く)の学生または大学院生で、学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方	5名	可	—	直接応募
22	公益財団法人 山本奨学会	5月14日	貸与 (無利子)	1.5万円	1年間	・鹿児島県内に本籍及び住所を有する者の子弟で学部生の者	25名	可	有	大学経由
23	公益財団法人 山口県ひとつくり財団	5月14日	貸与 (無利子)	4.3万円	修業年限	・次の3つの条件全てに該当する学部生 1. 保護者が山口県内に住所を有している者 2. 向学心に富み有能な素質を有し、経済的な理由により修学が困難と認められる者 3. 日本学生支援機構やその他の団体の貸与型の奨学生でない者	予算の 範囲内	一部可	—	大学経由
24	一般財団法人 鷹野学術振興財団	5月17日	給付	5万円	1年間	・次の4つの条件全てに該当する学部生及び大学院生 1. 科学技術関係(電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等)を専攻している者 2. 令和3年4月現在で学部1~3年生又は修士課程(博士前期課程)1年生 3. 卒業後は、製造業への就職を希望している者 4. 過去に当財団の奨学生に採用されたことがない者 ※ 外国人(日本国籍を有していない方)の場合は、日本語の会話・読み書きに習熟していること	若干名	一部可	—	大学経由

25	一般財団法人 ナガワひまわり財団	5月17日	給付	3万円	修業年限	・次の3つの条件全てに該当する学部生(6年制学部を除く2年生～4年生) 及び大学院生(修士(博士前期)課程および専門職学位課程) 1. 原則として令和3年4月1日現在で学部生は23歳、大学院生は25歳以下の者 2. 前年度までの成績(GPA)が、3.00以上の者 3. 給与収入世帯は合計収入800万円未満、給与収入以外世帯はその他収入400万円未満の者	60名程度	可	—	大学経由
26	公益財団法人 松藤奨学育成基金	5月18日	貸与 (無利子)	4. 2万円	修業年限	・長崎県内に住所を有する者の子弟で、かつ学部生のうち次に該当する者 1. 交通事故によって家計の支持者又は保護者が死亡するか、又は当該事故に起因する重度の後遺障害のため、就業不能となった結果、経済的に支障を生じ、修学の継続もしくは上級学校への進学が困難となった者 2. 1. 以外で、向学心に富み、有能な素質を持ちながら、家庭の経済的理由によって、進学あるいは修学の継続が著しく困難である者 3. 1. 2. いずれの場合も、成績優秀、品行方正で身体強健である者		可	有	大学経由
27	公益財団法人 志・建設技術人材育成財団	5月21日	給付	年額50万円	修業年限	・次の2つの条件全てに該当する兵庫県内高等学校卒業生 1. 工学部先進工学科海洋土木工学プログラム及び建築学科1年生 2. 大学卒業後、兵庫県内の建設系企業・官公庁等に就職を希望していること	5名	可	—	直接応募
28	公益財団法人 TAKEUCHI育英奨学会	5月21日	給付	6万円	2年間	・次の3つの条件全てに該当する長野県出身者 1. 機械工学・電気工学・制御工学等を学ぶ工学部2年生・3年生及び理工学研究科博士前期課程1年生 2. 品行方正・志操堅固・健康で学業成績が優秀であること 3. 学資が豊かでないこと	70名程度	可	—	大学経由
29	在日本朝鮮人教育会	5月22日	給付	年額16万円(1年) 年額20万円(2年)	修業年限	小学校教員を目指す教育学部生	1名	一部可	—	大学経由
30	一般財団法人 トヨタ女性技術者育成基金 (奨学支援コース)	5月23日	貸与 (無利子)	年額60万円	修業年限	・次の3つの条件全てに該当する学部及び大学院の理工学系女子学生 1. 学業成績優秀で、当基金の主旨に賛同し、将来製造業社でものづくりに関わる女性エンジニアとして、活躍していく意欲、熱意のある方 3. 日本国籍を有し、日本に居住している方	100名	可	有	直接応募
31	公益財団法人 三菱UFJ信託奨学財団	5月25日	給付	3. 5万円	修業年限	・次の7つの条件全てに該当する学部生 1. 法文学部法経社会学科又は工学部の2年生及び3年生 2. 令和3年4月1日現在で原則として23歳以下の者 3. 財団主催行事への出席を優先できる者 4. 健康で、学業成績、人物ともに優れており、学校長の推薦する者 5. 将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようと志す者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者 6. 学資の支弁が困難と認められる者 7. 採用後、三菱UFJ信託銀行に本人が普通預金口座を開設できる者	2名	可	—	大学経由

32	公益財団法人 NSKナカニシ財団	5月31日	給付	6万円	3年間	・次の4つの条件全てに該当する歯学部生 1. 日本国籍を有する者 2. 令和3年4月に4年生に進級する者 3. 成績が優秀である者 4. 経済的理由によって修学が困難と認められる者	50名程度	可	—	大学経由
33	公益財団法人 アキレス育英会	5月31日	貸与 (無利子)	自宅生 3万円 自宅外生 4万 円	修学期間	・令和3年4月入学の学部1年生で、品行方正、学術優秀で、かつ学資の支弁が 困難であると認められる者	20名	可		大学経由
34	公益財団法人 博報堂教育財団	6月7日	給付	原則として 5万円~10万円	修業年限	小学校教員を目指す教育学部生	1名	一部可	—	大学経由
35	公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団	6月10日	給付	修士:10万円 博士:15万円	修業年限	・医工計測技術関連分野において、博士号取得を目指す大学院生及び 学部4年生	10名程度	一部可	—	直接応募
36	公益財団法人 同盟育成会	6月11日	給付	学部生 4万円 大学院生 6万円	2年間	・次の3つの条件全てに該当する学部生及び修士(博士前期)又は専門職学位課程 1. 令和3年4月に学部3年次又は大学院に進級し、ジャーナリズム或いは ジャーナリズム研究者を目指して勉学に励んでいる者 2. 志操堅固、健康優良で、学業成績優秀な者 (優又は優相当以上の評価が5割以上) 3. 学費の援助が必要と認められる者	学部生 20名 大学院生 20名	可	—	大学経由

※ 各財団等締切日とは別に、各学部・各研究科で学内締め切り日を設定していますので、ご注意願います。